

=== スローガン ===

安心社会へ 新たなチャレンジ ～すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ～

重点分野－１：

すべての働く仲間をまもり、つなぐための集团的労使関係の追求と、社会に広がりのある運動の推進

ナショナルセンターの責務として、働く仲間の環境変化に対応した集团的労使関係の拡充・強化を追求するとともに、連合本部、構成組織、地域協議会と一体となって、労働組合の役割をより一層社会・職場に浸透させるため、人財や体制など基盤強化を進めます。また、持続可能な社会の実現に向けて、積極的な社会対話と発信、連合岡山プラットフォームの活用等、広がりのある運動に取り組みます。

1. 多様な就労者を含めた集团的労使関係の構築・強化

- (1) すべての職場における集团的労使関係の構築に向けて、その基盤強化につながる組織化・組織強化および職場における過半数代表制の適切な運用徹底に向けて、本部方針に基づき取り組みます。
- (2) 集团的労使関係による成果を、より多くの働く仲間へ波及させるため、本部方針に基づいて構成組織と連携の上、労働協約の拡張適用に取り組みます。
- (3) 『曖昧な雇用』で働く就業者の法的保護に対する連合の考え方を踏まえた本部方針に基づく社会的セーフティネットワークの強化、「労働者」概念の見直し・拡充等に取り組みます。
- (4) コロナ禍を乗り越えるため、連合運動のさらなる進化を追求するとともに、すべての働く仲間・生活者の雇用と生活を守るための効果的な取り組みを進めていきます。

2. 働く仲間をつなぎ支える取り組みの推進と新たな課題への対応

- (1) 「働く (Work) みんなの連合サポートQ」(愛称: Wor-Q(ワーク)) の幅広い周知を行い、多様な雇用・就労形態で働く人々と連合とのつながりを拡げていきます。
- (2) 直加盟・特別参加組織・ふれあいユニオンの構成組織移行を進めるとともに、働き方の多様化に伴う新たな組織課題を意識した「地域ゼネラル連合 (仮称)」のあり方について連合本部と連携し具体化をはかっていきます。

3. 「連合組織拡大プラン 2030」の実現に向けた拡大目標の必達と基盤強化

- (1) 「連合組織拡大プラン 2030」に向けた体制強化について、連合本部、構成組織、地域協議会との密接な連携のもと、組織の総力をあげて取り組みを強化します。
- (2) 組織拡大と同時に、組織強化の取り組みについても対応していきます。
- (3) 組織化案件やふれあいユニオンの加盟組合の状況について、構成組織への移行も視野に入れつつ、組織拡大チーム会議等で共有化をはかります。
- (4) 労福協「ライフサポートセンター」との密接な連携のもと、組織拡大につながる事案が発生する度に各地域協議会と連携をはかり、組織化に向けて対応します。

- (5) 未加盟組合への対応にあたっては、設定した「集中対応組織」に対して、構成組織へ加盟できるような対応していきます。なお、オルガナイザーの育成等については、連合本部と連携をはかることとします。
- (6) 「連合岡山退職者連合」（以下「岡山退連」という）「連合岡山退職者の会」の活動強化・組織拡大のための協力・支援を行います。

4. 連合岡山プラットフォームを活用した中小企業・地域の活性化に向けた取り組み

- (1) 経営団体や行政と連携し、地域の雇用を創出する中小企業の持続的な発展と、そこで働く人たちが安心して暮らすことのできる地域の活性化に向け、連合岡山プラットフォームを活用した取り組みをめざします。
- (2) 中小企業を支える経営諸団体と日常的な連携をはかり、情報を共有するとともに、労使が抱える共通の課題等に関する対応をめざします。
- (3) 「地域の活性化には地域の中小企業の活性化が不可欠」をスローガンに「地域活性化フォーラム」の開催に取り組みます。

5. 新たな社会運動の模索による世論形成・政策実現と、すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」となる運動の構築

- (1) 「連合アクション」により、市民目線の社会運動を構築し「発信」「共感」「参加・行動」「結果の可視化・共有」の好循環による世論形成をはかります。
- (2) 組合員や地域住民にとって、一番近い存在である地域協議会との密接な連携のもと「05（れんごう）の日の行動」の定着と、組織内外への広がり・深化をはかります。
- (3) 連合岡山の活動を組織内外へ情報発信するとともに、SNSやWEBの活用により発信力・拡散力強化を進めます。
- (4) 岡山県中央メーデーは「地域に顔の見える運動」を基本としつつ「with/afterコロナ」を見据えた適切な開催方法などについて議論を進めます。

6. 組織・財政の強化

- (1) 連合岡山の運動については「with/after コロナ」を踏まえ、各種会議や行事等の新たな運営方法（WEB等）を定着させ、着実に実施・展開していきます。
- (2) 執行委員会、三役会議、専門委員会は、年間活動計画に基づき開催し、民主的かつ真摯な論議を行います。
- (3) それぞれの産業政策の実現に向けて、金属部門、交通・運輸部門、官公部門の各連絡会の自律的な運営と機能強化をはかります。
- (4) 年2回の対話強化期間を設定し、春季生活闘争方針や連合岡山の運動方針、各種取り組みなどについて、各構成組織、地域協議会との共有化をはかります。
- (5) 組織人員の変動や会費収入の状況を十分チェックし、持続可能な財政基盤の確立に向けて、適正な運用に努めることはもとより、内部統制強化や会計事務のチェック機能強化をはかります。
- (6) 連合岡山事務所の耐震化問題をはじめ、各拠点の諸課題に関して、議論を進めていきます。